

バリアフリー化未整備の駅について



Question

バリアフリー化未整備の駅の解消を強力に推し進めていくべきです!

3,000人未満の駅であっても、地域からの強い要望があり、地域拠点性が高くバリアフリー化の必要性が高いと認められたときは、国も支援していくという指針が示されているところであります。

そこでお伺いしますが、あいの風とやま鉄道の利便性を高め地域の足としての機能を強化するためにバリアフリー化が未整備の駅について、県が主体となってバリアフリー化の必要性に係る実態調査を進めるべきと考えます。



Answer

1日の平均利用者が3,000人以上の駅を対象に順次バリアフリー化が進められております。3,000人未満の未整備駅では、原則は利用者が増えなければ補助採択が難しいということになっております。

高齢化社会への対応、また障害者の方々の社会参加などに寄与する、また、もちろん費用がかかりますけれども、議員御指摘のようにあいの風鉄道の利用者増にもつながるという面もあるわけですから、県としては、引き続き補助採択基準の緩和とか、また、何かまたお知恵もいただいでこういった特殊事情があるといったような理屈づけなども工夫しまして、できるだけ引き続き国に強く働きかけてまいりたい、こういうふうになっております。

ライフライン確保などの雪対策について



Question

今冬、私の地元 福岡町花尾地区を中心に1万2,000戸の世帯が3日間にわたり停電し、氷見市では500世帯に上る断水が発生いたしました。

停電予防対策や道路交通の安全確保のため、民間電気事業者との情報共有を図り、倒木危険箇所の総点検と伐木処理を徹底して行く必要があると考えますが、円滑な除雪対策の観点も含めライフラインの確保に必要な道路沿いの樹木の状況把握や倒木予防のための処理などどのように取り組んでいくのか。



Answer

この冬の課題について速やかに検証作業を進めるとともに、福井県など被害が大変に大きかった地域の対応なども参考にしまして来る次の冬の雪対策に万全の体制で取り組みたいということで、お話しのように今年度は例年より時期を早めまして、私も出席させていただいて総合雪対策推進会議を開催いたしました。

今後も市町村やライフラインの関係機関、関係の事業者の方、また県民の皆さんと連携協力しまして、まさに県民総ぐるみで次の冬に向けましてしっかりと雪対策に取り組んでまいります。

富山県議会会議録 ▶



県議会を傍聴・視聴しませんか?

県の予算や条例などがどのように決められているのか、気になりませんか?
インターネットやケーブルテレビで本会議を視聴できますので、ぜひご覧になってください。

インターネット会議中継

本会議の生中継をご覧ください。
また、過去の本会議映像もご覧いただけます。
www.toyama-pref.stream.jfit.co.jp/

ケーブルテレビによる県議会中継

チャンネルはこちらから確認できます。
www.pref.toyama.jp/sections/0100/relay/summary.html

お知らせ

ホームぺージ
» 川島国HPをリニューアルしました!

- ◆ 県議会の質問などは、動画共有サービスYouTubeで見やすく、わかりやすくご報告しております。
- ◆ 活動報告ページでは、この県政報告では伝えきれない“日々の川島 国の活動”をリアルタイムに更新しております!



kawashimakuni.com



ヘルプマークを知っていますか? ヘルプマークとは、義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、外見からでは分からなくても援助が必要な方が身につけるマークです。
川島 国は、2016年9月20日の定例会一般質問にてヘルプマークを身につけて登壇しております。

皆さん、ずっとこの胸につけたタグを不思議に見ておられたかと思いますが、これはヘルプマークといいまして、一見健康そうに見えても、難病や障害を持たれた方が、突然の地震やゲリラ豪雨などの災害時で避難を余儀なくされたときに効果を発揮するものであります。周囲に対して自己の障害への理解や支援を求めるためのヘルプマークであります。

東京都からこのマークの活用が図られ、現在全国の都道府県、自治体に波及しており、障害を持たれた方に対する共助の支援の輪が広がっております。

宮崎県では、カルテなどの個人データICチップを内蔵したヘルプカードを発行しており、災害時における災害弱者の判別にも大きな力を発揮するものと思います。

本県としてもこのヘルプマークの普及を積極的に推進していくべきと考えます。

<2016年9月20日の定例会一般質問 議事録抜粋>

もし、ヘルプマークを身につけている方が困っているように感じたら、声をかけるなどの配慮をお願いします。



富山県では、平成30年7月から
ヘルプマークを“無償配布”しています。
[県内5,000個]

< 主な配布場所 >

- ・県庁障害福祉課
- ・各市町村障害福祉担当課
- ・県厚生センター及び富山市保健所

「配付条件」
はこちらから

< お問い合わせ先 >

富山県 厚生部 障害福祉課
TEL:076-444-3211



農林水産分野への取り組み



国の「種子法」廃止に伴う取組みとして、県条例を制定するべく独自の条例を制定した先進県である埼玉県、新潟県、兵庫県を視察し、地域固有の品種を県としてしっかり守り、種子の供給体制を維持していくこととしています。
スマート農業への先進的な取組みを研究し、若者の就農への促しや、高齢者が簡単に農業に取り組める環境を整備していきます。スマートフォンから稲の発育状況を感じし、適度な肥料散布を自動的に行える取組みが進んでいます。



河川の強靱化。谷内川・黒石川改修へ



谷内川は高岡市北西部を貫流する一級河川です。河川断面が狭小で、流路も湾曲しており、浸水被害が発生しています。被害軽減に向けた河川改修として、小矢部川合流点から五位庄用水までの延長3150メートルを対象に、築堤工11万立方メートル、護岸工6300メートルに取り組んでいます。総事業費は53億円。2026年度完工を目指し、来年度も約2億円の予算投入により整備促進を図ります。

黒石川は、浸水被害を防ぐため、小矢部市岡地域における改修を進めてきました。本来であれば、河川は川下から整備を進めていくのがセオリーですが、諸般の事情で川下に当たる福岡町荒屋敷地域の改修整備が進んでいません。
近年の豪雨に対応するためにも早期に事業着手できるように努めていきたいと考えております。

富山県高岡土木センター小矢部土木事務所 ▶

